

平成 26 年度

## (言語聴覚学科) 入学試験問題

### 教養 (国語・数学)

試 験 時 間

11 : 00 ~ 12 : 00

(注意)

- 1 係員の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないで下さい。
- 2 問題は 2 頁～18 頁に印刷されています。
- 3 解答用紙に氏名、受験番号及び受験科目名を記入して下さい。
- 4 解答方法は次のとおりです。

例 [1] 埼玉県の県庁所在地として、正しいのはどれか。

① 前橋市 ② 甲府市 ③ さいたま市 ④ 横浜市 ⑤ 千葉市

[2] 次の計算をせよ。

(1)  $1+3=$   (2)  $10+2=$

[1] の正答は「③ さいたま市」ですから解答用紙の解答番号 1 の横に並んでいるマーク欄の中の「③」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

[2] の(1)の正答は  $1+3=$  「4」ですから解答用紙の解答番号 2 の横に並んでいるマーク欄の中の「④」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

(2)の正答は  $10+2=$  「12」ですから解答用紙の解答番号 3 の横に並んでいるマーク欄は「①」を、解答番号 4 の横に並んでいるマーク欄は「②」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

- 5 机の上には鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計 (計算機能のついていないものに限る)、受験票以外は置かないで下さい。
- 6 受験票は番号札の手前に置いて下さい。
- 7 マスクを着用している者は、試験官が本人確認する間、マスクを外して下さい。
- 8 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 9 試験中に気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなった者は静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 10 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
- 11 途中で退室する者は、解答用紙を机の上に置き、静かに挙手をして、係員の指示に従って退出して下さい。ただし、試験開始後 30 分間及び試験終了 10 分前の退出は認められません。
- 12 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

## 国語

[1] 次の各文のカタカナを漢字になおした時に、問題文の下線部と同じ漢字を用いるものを①～⑤より選べ。  ～

問1 調停委員のサイテイに従う。

- ① 布を型に合わせてサイダンする。
- ② 彼には一千万円のサイムがある。
- ③ 五年続いたレンサイ漫画が打ち切られた。
- ④ 法案のサイケツを取ったところ否決された。
- ⑤ 野菜の促成サイバイを試みる。

問2 都会のジンアイにまみれる。

- ① ジンジョウではない声が聞こえてきた。
- ② 代々積み重ねられた家財をトウジンした。
- ③ こちらの要望に対応していただければコウジンです。
- ④ 強い風でサジンが巻き上げられている。
- ⑤ ジンソクな行動が求められる。

問3 郵便や通信など、テイシン分野の進歩が急激だ。

- ① 五日間の集中講義のカテイを全て終わらせた。
- ② 平和条約を二国間でテイケツする。
- ③ 相手チームの事情をテイサツする。
- ④ テイハツして仏門に入る。
- ⑤ この街は人口がテイゲンしている。

問4 急進的な政策のハイガイが出ている。 4

- ① 市庁舎に消防局をハイセツする。
- ② 新しいカハイを発行する。
- ③ ハイシャ宛に連絡をお願いします。
- ④ 光をシャハイするカーテンだ。
- ⑤ 不祥事に対してハイシンテイトウで詫げる。

問5 カンゼンチョウアクものの時代劇だ。 5

- ① 皇帝のチョウアイを受けている。
- ② 彼女は詐欺でチョウエキ5年の実刑を受けた。
- ③ 最後ツウチョウを突きつける。
- ④ 1日かけてチョウカは小魚1匹だった。
- ⑤ 現金の出入りをチョウボに記入する。

〔2〕次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

脳は、生まれ落ちた時から、生きるうえで重要な報酬が得られるように、神経回路網のつなぎかえを行っている。たとえば、お母さんの声がすると、やがてミルクをもらえるという経験を積み重ねることで、赤ちゃんの脳の中で、ミルクの味、お腹が空くこと、お母さんの声、要求が満足されることへの期待といった情報処理を行う神経細胞の結合パターンが変化していく。このような神経細胞の結合の変化が、すなわち学習である。

人間の場合、何が、生きるうえでもっとも大切で、切実な報酬であるかはハッキリしている。人間にとって、もっとも大切な報酬は、自分が所属する社会の構成員である他者からどのように評価されるかということである。文明が発達し、一人の人間が生きていけるかどうかを決めるもっとも重要な要素が、自然環境への適応から、社会における他者からの評価へと変化した人間においては、このような報酬の構造は自然である。

他者からの評価がもっとも大切な報酬であること、そして、そのことが、一人ひとりの心のあり方に多大な影響を与えることは、人間が（ア）な動物であることを熟知した成人においてよりも、むしろそのようなことを十分に意識、言語化していない乳幼児においてこそ純粋かつ強烈な形で現れる。大人になって、スレてしまい、人前でしゃべることに何の緊張も感じなくなった人も、子どもの頃を思い出せば、大勢の人の前に立って膝ががくがくふるえ、声がかすれた経験が必ずあるはずである。

人は、常に何者かである「ふり」をしている。世界に対して、ある特定の心的程度を持ってのぞんでいる。人が、そのように一日中何者かである「ふり」をして過ごすのも、幼児期からの、他者からの評価を何よりも重要な報酬として認知プロセスを発達させてきた長い歴史を受けてのことである。

人間にとって、他者の存在がどれほど大切であるかは、自分の幼少期のさまざまな体験を振り返ってみればわかる。私自身、子どもの頃を振り返ると、あの頃にこそ、他者からの評価を切実な報酬として大切に感じるという脳／心の働きがもっとも純粋な形で出ていたように思う。幼少期を振り返れば、他者とのかかわりを切実に感じるという私たちの属性が純粋な形で取り出せる。個人の歴史における「心の（イ）」の中に、人間の発達における他者の存在の重要性を考えるためのヒントが隠されているのである。

〔茂木健一郎『「意識」とは何か』より〕

問1 空欄(ア)、(イ)に当てはまる語として妥当なのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。 ,

(ア)

- ① 衝動的
- ② 利己的
- ③ 社会的
- ④ 理知的
- ⑤ 精神的

(イ)

- ① 論理学
- ② 経済学
- ③ 人類学
- ④ 生命科学
- ⑤ 考古学

問2 文章の内容と一致しているものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。

- ① 赤ちゃんの脳は、生きるための報酬に依存する割合が大人よりも大きいため、神経回路網のつなぎ替えが大人よりも頻繁に行われている。
- ② 人間が他者から評価されることが最も重要な報酬であるという事実は、現在の人間が社会で生きていくためには自然であるが、人間本来のあり方からすれば不自然である。
- ③ 他者からの評価を言語化できない乳幼児であっても、評価を意識する傾向にはあるため、子どもの頃にはその多くが人前で極度の緊張を味わっている。
- ④ 人が何者かである「ふり」をすることが、人が人たるゆえんであり、その経験を積み重ねることで、他者からの評価を重要な報酬として認知プロセスを発達させてきた。
- ⑤ 幼少期は、脳や心の働きが、他者からの評価を重要なものとして受け取る経験をするものであり、その経験を想起することが、人間と他者の関係を考えるうえで必要である。

〔3〕次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「帰る」ということばの対になっているのは「出る」ということばである。日本人は、その人生の理想型のひとつとして、生まれたところから「出る」べきだという衝動をもっている。典型的には、まず学校が「出る」ための手段だ。草深い田舎にいて、営々とはたらきつづけるのでなく、もっと大きな可能性をもとめて、東京なり京都なりの学校に入学すること——それを目標にして日本の若ものたちは勉強する。

( A ) よりよき教育と成功のチャンスが都市にあるはずだ、という幻想がかれらをつきうごかす。むかしふうにいえば、「男子志を立てて郷関を出る」のである。そしてその志がとげられなければ「死すとも帰らず」なのである。( B )

それほど大げさに力まなくても、われわれの日常感覚のなかに、たしかに「出る」という観念がある。わたしは、ながいあいだ京都に住んでいて、京都・東京を往復する生活をつづけていたのだが、東京の友人たちのなかにはたとえば、飲む約束をしたりするとき「こんどはいつ出てくる？」というものの言い方をする人が何人もいた。

( C )

何百万、いや何千万という日本人が明治以来、こんなふうにして「出て」きた。現在、東京は、やたらに大学生の多いところだが、そのおよそ六割は「地方出身」者、つまり「出て」きた連中である。( D )

こんなふうにして「出て」きた人は、要するに「出て」いるにすぎないのだから、「帰る」ところをもっている。古風ないい方をすれば「墳墓の地」、ディスカバー・ジャパンふうにいえば「ふるさと」——そこに帰ってゆく。ほんのしばらくの出かせぎの人が、そのしごとを終えて「帰る」というのなら、まさしく「帰る」ということばがふさわしいが、大都市に「出て」きて何十年も住みつづけている人たちも、依然としてそれぞれの故郷に「帰る」のだ、という。( E ) すくなくとも、多くの人がそういうことばを使う。われわれの潜在意識のなかには、一種の帰巢本能のようなものがはたらいていて、「出た」先というのは、結局のところ、長期の滞在地にすぎない、とかんがえているようなのである。

[加藤秀俊『日本人の周辺』より (一部省略がある)]

問 本文中の空欄（ A ）～（ E ）のどこかに次の文が入る。これを挿入するのに最も適当な箇所はどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。 9

東京というようなところは、単に「行く」とか「来る」とかいったあたりまえの動詞によって移動すべきところなのではなく、「地方」から「出て」ゆく先なのだ。

① （ A ）

② （ B ）

③ （ C ）

④ （ D ）

⑤ （ E ）

〔4〕 次の文章を読んで、後の問に答えよ。 10 ～ 12

レイチェル・カーソンの『沈黙の春』は、環境問題、公害問題の「古典」と考えられている。事実それは、資源、エネルギー問題を含めて、広義の「環境」問題について、世界的に広く読まれ、広範な影響をもった一連の標準的テキスト等の端初をなすものであった。

「古典」という扱われ方は、だれでもその書名をよく知っている割合には、現在ではその内容を必ずしもきちんと読まれていないということでもある。この本が提起している問題の基本的な構造は今も変わっていないし、今もなお（ A ）な問題であるが、ここでとりあげられている個々の化学薬品類の多くは、今日では規制されていて、ほとんど使用されていない。（ B ）カーソンが描いているような季節の沈黙——鳥の不在や川の死や土壌の汚染は、今日をはるかに巨大な規模で実現している。むしろわれわれがこの本の中に「（ C ）」なものを感じるのは、そこで彼女が新鮮な苦痛をもって告発している個々のことがらが、われわれにとって、もう一世代以上のあいだ日常のこととなってしまうので、その怒りの新鮮さのようなものに、まぶしさと戸惑いをさえ感じてしまうからである。

※ 漢字・用語などは原文のまま引用  
[見田宗介『現代社会の理論』より]

問1 空欄部（ A ）に入る語として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。 10

- ① アクチュアル
- ② スピリチュアル
- ③ カルチュラル
- ④ パーチャル
- ⑤ ローカル



問2 空欄部（ B ）に入る語として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。

- ① そして
- ② それでも
- ③ ところで
- ④ したがって
- ⑤ たとえば

問3 空欄部（ C ）に入る語として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。

- ① 本質的
- ② 現代的
- ③ 概念的
- ④ 歴史的
- ⑤ 行動的

〔5〕次の文章を読んで、後の問に答えよ。 13 ～ 15

メディア・情報によって動かされる欲望は（もっといえば好奇心は）、何かモノやそのモノの属する文化、歴史に対する強い愛着からくるのではない。あるいはそのモノが暗示する理念に結びついているのでもない。つまり、どのようなかたちであれ、モノに対する欲望をもつ「消費者」というカテゴリーは（ A ）。

現代では、人々はメディア・情報からあるメッセージを受け取るというよりも、メディア・情報そのものを消費している。モノを消費して欲望をみたすのではなく、情報を消費し、いつのまにか欲望を植え付けられる。

こうした人々を消費者と呼んでよいのかどうかあやしいところだ。情報を消費する人は、情報によって自分自身を無意識のうちに操作している。このような無意識の欲望操作そのものが「情報資本主義」なのである。

ここのところを誤解しないでいただきたい。情報によって無意識のうちに欲望を操作し、そのあとで「消費者」としてマーケットに出てくるというのではない。そうではなく、無意識のうちに一定の方向に欲望をかたちづけるというプロセスそのものが「資本主義」の活動、つまり人々の欲望のフロンティアになってしまったのである。それを行うのはメディア・情報装置だ。だから資本主義は、メディア・情報装置に助けられているのではなく、また、資本はメディア・情報を利用するのでもなく、（ B ）、メディア・情報の自由な活動そのものが資本主義（欲望のフロンティアの拡張運動）にほかならないのである。これが「情報資本主義」の意味なのだ。

〔佐伯啓思『「欲望」と資本主義』より〕

問1 空欄部（ A ）に入る最も適当な語句を、次の①～⑤のうちから1つ選べ。 13

- ① 極めて大きな意味を持つようになっている
- ② あまり意味を持たなくなっている
- ③ 最近になってあらわれた新しい枠組みである
- ④ 古くから存在する伝統的な枠組みである
- ⑤ メディア・情報の世界で普遍的な存在である

問2 空欄部（ B ）に入る最も適当な語句を、次の①～⑤のうちから1つ選べ。

14

- ① それゆえ
- ② しかも
- ③ まさに
- ④ なぜなら
- ⑤ もっとも

問3 本文の内容に合致するように、次の空欄に当てはまる語句はどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。 15

「情報資本主義」とは、メディア・情報の活動により（ ）である。

- ① モノを消費する欲求を喚起させること
- ② 消費者が逆に情報の操作主体となること
- ③ 消費者がマーケットの主役として登場すること
- ④ 消費者が意図せずして己の欲望を操作すること
- ⑤ 消費者が情報の一方的な受け手となること

[6] 次のA～Eをならべかえて前後の文と文意が適切につながる文章にする場合、最も  
妥当なものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選べ。 16

※この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません。

出典：サミュエル・ハンチントン著 鈴木主税訳「文明の衝突と21世紀の日本」

- ① B — A — D — E — C
- ② B — E — A — C — D
- ③ B — E — D — A — C
- ④ D — A — E — B — C
- ⑤ D — E — A — C — B

## 数学

〔1〕 次の計算をせよ。

$$(1) \frac{1}{4} + \frac{2}{3} \times 0.25 \times \frac{45}{10} = \boxed{17}$$

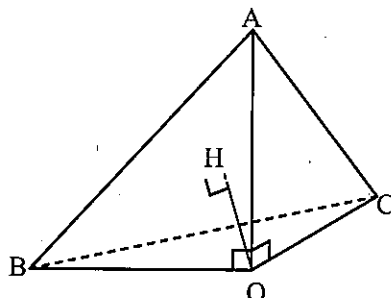
$$(2) \frac{2}{\sqrt{3}-\sqrt{2}} - \frac{2}{\sqrt{3}+\sqrt{2}} = \boxed{18} \sqrt{\boxed{19}}$$

〔2〕  $\log_3 \frac{1}{2} - 2 \log_3 \frac{\sqrt{6}}{3} + \frac{1}{2} \log_3 \frac{9}{4}$  を整理すると、 $\log_3 \frac{\boxed{20}}{\boxed{21}}$  となる。

〔3〕  $\log_2 8$ ,  $\log_{25} 125$ ,  $\log_3 9$  について、不等号  $>$  を用いて左側が大きな値になるように並べると、 $\boxed{22}$  となる。 $\boxed{22}$  にあてはまるものを、下の①～⑥のうちから1つ選べ。

- ①  $\log_2 8 > \log_{25} 125 > \log_3 9$
- ②  $\log_2 8 > \log_3 9 > \log_{25} 125$
- ③  $\log_{25} 125 > \log_2 8 > \log_3 9$
- ④  $\log_{25} 125 > \log_3 9 > \log_2 8$
- ⑤  $\log_3 9 > \log_2 8 > \log_{25} 125$
- ⑥  $\log_3 9 > \log_{25} 125 > \log_2 8$

[4] 次の図は、 $OA=OB=OC=6$ 、 $\angle AOB=\angle AOC=\angle BOC=90^\circ$  の三角すいである。この三角すいの頂点  $O$  から平面  $ABC$  に下ろした垂線  $OH$  の長さは  $\boxed{23}\sqrt{\boxed{24}}$  である。



[5]  $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  のとき、 $\tan \theta = \frac{24}{7}$  とする。このとき、 $\sin \theta = \frac{\boxed{25}\ \boxed{26}}{\boxed{27}\ \boxed{28}}$  である。

[6] A と B と C の 3 人がじゃんけんをする。このとき、2 回続けてあいこになる確率は、 $\frac{\boxed{29}}{\boxed{30}}$  である。ただし、「あいこ」とは、A と B と C の 3 人がすべて同じ手を出すか、または 3 人もすべて異なる手を出すことにより勝負がつかないことである。

[7] 濃度 5% の食塩水が 300g ある。この食塩水から水を 60g 蒸発させた後、食塩を 10g 加えたところ濃度は  $\boxed{31}\ \boxed{32}$  % になった。

[8] A と B が文房具屋と本屋で買い物をした。1 軒目に行った文房具屋では、二人がともに 700 円の文房具を買ったところ、二人の所持金の残高の比は 3 : 2 になった。つづいて、2 軒目に行った本屋では、二人がそれぞれ 1,000 円の本を買ったところ、二人の所持金の残高の比は 4 : 1 になった。このとき、A と B が最初に持っていた所持金は A が  $\boxed{33}\ \boxed{34}\ \boxed{35}\ \boxed{36}$  円、B が  $\boxed{37}\ \boxed{38}\ \boxed{39}\ \boxed{40}$  円である。

[9] 次の表は、80点満点のゲームを5回行った結果をまとめたものである。次の(1)、(2)に答えよ。

回数	1	2	3	4	5
得点	58	55	62	29	41

(1) 5回の得点の平均値は  $\boxed{41}$   $\boxed{42}$  である。ただし、平均値とは  $n$  個のデータ  $x_1, x_2, \dots, x_n$

があるとき、 $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i = \frac{1}{n} (x_1 + x_2 + \dots + x_n)$  をいう。

(2) (1)で求めた得点の平均値  $\bar{x}$  を用いて、5回の得点の分散を求めると  $\boxed{43}$   $\boxed{44}$   $\boxed{45}$  とな

る。ただし、分散とは  $n$  個のデータ  $x_1, x_2, \dots, x_n$  があるとき、 $\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2$  をいう。また、

$\sum_{i=1}^n x_i^2 = x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_n^2$  である。

国語・数学 (言語聴覚) 正解一覧

国語			数学		
問題	解答欄	問題	解答欄	問題	解答欄
[No. 1]	問1	[ 1 ]	1	[ 17 ]	1
	問2	[ 2 ]	4	[ 18 ]	4
	問3	[ 3 ]	5	[ 19 ]	2
	問4	[ 4 ]	3	[ 20 ]	9
	問5	[ 5 ]	2	[ 21 ]	8
[No. 2]	問1-(ア)	[ 6 ]	3	[ 22 ]	2
	(イ)	[ 7 ]	5	[ 23 ]	2
	問2	[ 8 ]	5	[ 24 ]	3
[No. 3]		[ 9 ]	3	[ 25 ]	2
	問1	[ 10 ]	1	[ 26 ]	4
	問2	[ 11 ]	2	[ 27 ]	2
[No. 4]	問3	[ 12 ]	4	[ 28 ]	5
	問1	[ 13 ]	2	[ 29 ]	1
	問2	[ 14 ]	3	[ 30 ]	9
[No. 5]	問3	[ 15 ]	4	[ 31 ]	1
		[ 16 ]	5	[ 32 ]	0
[No. 8]				[ 33 ]	2
				[ 34 ]	5
				[ 35 ]	0
				[ 36 ]	0
				[ 37 ]	1
				[ 38 ]	9
				[ 39 ]	0
				[ 40 ]	0
				[ 41 ]	4
				[ 42 ]	9
[No. 9]				[ 43 ]	1
				[ 44 ]	5
				[ 45 ]	0